

## 京都女子大学

## 発達教育学部紀要

第 21 号

令和 7 年 3 月

発達教育学部長 岩槻知也：〈巻頭言〉新「発達教育学部」開設記念号の発刊に寄せて	
荒川恵子・太田公子・斎藤昭則・蒲生孝治・野本由紀夫：SDGs をテーマとした 科学・音楽コミュニケーションについての一考察 —「天体と音楽」実行委員会の市民開放型企画より—	1
落合利佳・滝川国芳：自閉スペクトラム症児，病弱児，脳性麻痺児の社会的 発達と心理的課題—TRPG の応用的活用を目指して—	13
表 真美：小学校道徳教科書における家族観	23
ガハプカ 奈美：身体と言葉を結ぶ音楽表現活動の一考察 —手話をを用いた表現に見えるもの—	33
倉本美輪・表 真美：同僚とのコミュニケーションと女性教員の働きやすさ について—女性教員へのインタビュー調査を通して—	43
駒井千春・村井尚子・坂田哲人・森 久佳：オランダにおける教育の自由と 学力重視のせめぎ合い—現地での観察調査をもとに—	55
坂井武司・赤井秀行：パターンを題材とした保育に関する研究 —算数の基礎としてのパターンの認識の意義—	67
坂井武司・赤井秀行・黄 秋煜・高 晨・陳 斯曼・石坂広樹： 算数教育における台湾と日本の比較研究	79
坂 本 光 太：ヴィンコ・グロボカール「独創的な演奏者」（1975）翻訳と 解題—グロボカールの目指した作曲家と演奏者の協働による 音楽創造のあり方—	91
坂本光太・大澤里紗：リトミックを活用した指揮指導の実践的研究 —初等・中等教育教員養成課程における「指揮法」授業の アクティビティ開発と実践—	101
玉 村 公二彦：戦後大阪府における戦争孤児・浮浪児と児童養護施設 —大阪府立白鳥学園での生活と教育の映像を中心に—	115
辻 誠・浦田雅夫・仲井勝巳・伊藤佐陽子： 子どもの「意見表明」を育てる保育教材の実践研究 —一年長児に対する「糸電話の制作と遊び活動」を通して—	127
仲 井 勝 巳：カンボジア農村部および都市部の学校教育に関する調査研究 —小学校と幼稚園に着目して—	137
野尻麻衣子・土居知子・山崎菜央：オンライン音楽ドリル開発の試み（2） —小学校 5 年生の授業実践を通して—	145
松 岡 靖：バックキャストिंगの手法による社会科災害学習の単元構成 —単元「南海トラフ巨大地震の脅威」の設計を通して—	157
水谷 百・瀬々倉玉奈：つどいの広場における保育者の新たな役割 —通常保育の応用としての子ども子育て支援—	169
水戸部 修 治：小学校国語科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」 の一体的実現に向けた検討 —ロングレンジの学習活動を視点として—	181
森 久 佳：デュイ実験学校に対する「歴史的神話（historical myths）」 の視点を踏まえた批判的考察の可能性	193
矢野 真・田爪宏二・吉津晶子：就学前教育・初等教育における ESD 実現の ための木育教材の開発Ⅲ—木育教材の汎用性の視点から—	207
令和 6 年度公開講座	217
修士論文・卒業論文題目	218

令和6年度 公開講座

◆教育学科公開講座 2025年1月25日(土) 13:30~16:30

インクルーシブ教育システムの構築と表現活動の可能性 - 真のインクルーシブ教育を目指して -  
手話通訳 馬場 昌子 氏

第1部 「インクルーシブ教育システムの現状」

講師 本学 発達教育学部 教授 滝川 国芳 氏

第2部 「インクルーシブな表現活動の創造性~ホワイトハンドコーラスNIPPONの事例から~」

講師 一般社団法人 El Sistema Connect 代表理事 コロン えりか 氏

第3部 「手話と手歌そして、ホワイトハンドコーラスの活動」

講師 ホワイトハンドコーラス京都チーム講師 岡本 英樹 氏

馬場 昌子 氏

中坂 文香 氏

パフォーマンス 「手歌を見て・聞いて・体験する」

演奏 ホワイトハンドコーラスNIPPON 京都チームの皆さま

令和6年度

大学院発達教育学研究科 修士論文題目

〈教育学専攻〉

- 倉本美輪 女性教員の同僚との関係構築と働きやすさ  
駒井千春 教育に内在する暴力・暴力性について  
—学校教育における暴力・暴力性に関する一考察—

〈心理学専攻〉

- 東愛夏 高齢期における特性ノスタルジアとwell-beingの関連性について  
鬼頭里帆 名前を呼ばれることが印象形成に及ぼす影響：ノベルゲームを用いた検討  
西山貴代 身体症状と遂行機能との関連  
早川瑛子 否定的な養育行動・育児感情の世代間連鎖に対する心的外傷後成長の緩和的効果

〈表現文化専攻〉

- 大海実穂 バロック後期の歌唱法について  
～ヨハン・フリードリヒ・アグリーコラ訳編『歌唱芸術の手引き』をもとに～  
久次米みなみ 映画における映像と音楽の相乗効果について  
久谷雪乃 G.プッチーニのオペラ《ラ・ボエーム》ミミの表現方法の一考察  
～プッチーニの十戒を用いて～  
星仁美 F.ショパン《ノクターン》の教材的価値に関する一考察  
八島侑梨 童謡を受け継いでいくための小学校における音楽科授業のありかた  
鷲巣彩音 言葉と音楽を融合させた舞台作品の創作  
～物語の表現方法を探りながら～

令和6年度

発達教育学部教育学科 卒業論文・制作題目

教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
青木和奏	貧困世帯・貧困母子世帯の子どもへの学習面における小学校教師の支援の課題とその解決について	(森)
浅川真衣	病気の子どもの思いに寄り添う教育支援の在り方に関する研究	(滝川)
石橋小春	学校における外国にルーツをもつ児童生徒に対する日本語指導の現状と課題	(岩槻)
磯崎杏実	小学校における防災教育 —大阪市立N小学校を例にしたカリキュラムの提案—	(齊藤)
板山琴音	絵本におけるジェンダー —35年前と比較して—	(表)
上田真由	歴史を感じる書写教育の授業開発 —和文化教育を中心として—	(松岡)
上野静華	日本における“子育て困難”の現状と児童相談所の役割に関する考察 —学校との連携に着目して—	(岩槻)
上原秋実	通常学級における学習障害をもつ児童への支援 —多層指導モデルMIMを用いて—	(落合)
上東笑侑	ほめることの必要性の検討と効果的なほめ方	(村井)
上村美月	自閉スペクトラム症児の偏食指導	(落合)
江藤千夏	小学校における女性教師のキャリア形成の課題 —ジェンダーの観点を踏まえて—	(森)
大崎梨帆	「生きる力」を育む「書くこと」の言語活動	(水戸部)
大谷真里菜	感性教育の視点を取り入れた小学校国語科「読むこと」の授業構想に関する研究 —感じるままに表して—	(水戸部)
沖野萌々花	子どもの自己肯定感を育む「読むこと」の授業 —国語で伝える「どんな自分も、素敵な自分。」—	(水戸部)
小笹野々子	地域別に見た平和教育の実態とそこから見る平和教育の存在意義	(村井)
大田原愛実	小学校歌唱共通教材の指導法と工夫についての一考察 —楽曲分析と認識度調査を通して—	(村井)
小野紗佳	若者流出対策のカギを握る地方創生	(森)
鹿取陽子	相対的貧困を伴う母子家庭で発生する児童虐待の背景とニーズに合わせた支援	(村井)
河合倫江	多様なサービスを提供する公共図書館の取り組みとその特色	(森)
川上和美	学校におけるジェンダーバイアスの克服と教員の在り方について —教育実習を経験した女子学生の視点から—	(森)
川嶋詩織	国語科におけるICTを活用した自己調整学習に関する研究	(坂井)
北束歩咲	母親の育児不安の実態とその要因に関する考察	(岩槻)
衣笠日菜	一人一人が「読むこと」の楽しさを実感するとともに「読解力」を育むことができる授業の在り方に関する研究	(水戸部)
葛上菜々	同性婚の認知と法制度 —日本における課題と他国の同性婚容認の背景—	(大橋)
郷良紗夏	絵本を題材とした国語科教材の挿絵が小学校に与える影響と可能性 ～絵本の活用例とともに～	(森)

卒業論文題目

小谷 有未	動物介在活動の実例から分かる動物から得られる効果 ～動物介在の活動と授業の提案～	(宮野)
米谷 朱加	学校の「居場所」づくりに関する取り組みの検討	(齊藤)
佐藤 萌	現代日本におけるICT教育の評価と課題	(福永)
穴田 希果	子どもたちのメンタルヘルスを守る学校における居場所づくり	(松岡)
柴田 紗希	童話『ヘンゼルとグレーテル』をテーマにしたお菓子の家の制作 ―読書から展開する工作の研究―	(辻)
下山 莉央奈	スポーツ活動の効果的な取り組み ―運動と学力の関係に着目して―	(大橋)
白井 空美	障害のある子どもへの音楽的実践のアプローチ ～わらべうたを用いて～	(玉村)
鈴木 初奈	環境が人格形成に及ぼす影響 ―SNSの自己肯定感への影響に着目して―	(宮崎)
芹澤 類	公立学校におけるオルタナティブ教育の検討 ―緒川小学校・伊那小学校の事例を中心に―	(村井)
ソリアノ 彩美	日本の英語教育と学習動機の相互作用 ―効果的な英語学習の提案―	(宮崎)
田口 詩栞	就学前の子どもの言葉の発達と支援の在り方	(落合)
竹嶋 若菜	特別支援学校高等部におけるキャリア教育と就労支援のあり方に関する研究	(滝川)
竹田 千織	里親支援の現状と課題に関する考察	(岩槻)
竹田 侑生	夢をもつことの意味	(大橋)
竹中 未夢	教科担任制の有効な活用方法についての考察	(森)
竹村 舞祐	教員養成課程を履修する女子大学生における 幼少期の親からの期待や養育態度の認識と適応	(森)
立森 裕佳子	『暗殺教室』からみる理想の教師像 ―「殺せんせー」の指導法から学ぶ―	(齊藤)
田中 咲希	特別な支援を必要とする子どものきょうだい児支援における学校教育のあり方に関する研究	(滝川)
田中 美帆	貧困家庭にいる子どもたちを対象とした学校外教育に対する支援	(表)
谷本 幸奈	小学校における「夏休みの宿題」の実態と課題	(表)
垂水 咲季	大学生の食生活と健康意識 ―食習慣の現状と改善のための提案―	(大橋)
辻野 可純	学校現場における自己愛トラウマに対する回復支援	(松岡)
津田 美奈	よりよい学級経営を目指す教師の関わり ―児童の自己肯定感と集団づくりに着目して―	(齊藤)
角田 葵	障害のある子どもと放課後等デイサービス	(玉村)
出口 葉奈	インクルーシブ教育システムにおける学級経営と授業づくりの関係性に関する研究	(坂井)
徳田 えり	教育格差の現状と課題	(齊藤)
外磯 ほのか	特別支援教育の特性を生かした通常の学級における算数指導に関する研究	(坂井)
友瀬 さくら	算数の基礎を育む保育に関する研究	(坂井)
中谷 萌花	キャリア教育のあり方	(齊藤)
中西 香菜実	児童養護施設における虐待の世代間連鎖を断ち切るための支援	(松岡)
中根 芽衣	読む力を育てる国語科の授業における言語活動の工夫改善に関する研究	(水戸部)
中村 有生里	絵本『じぶんらしいってすてき』の制作 ―ジェンダーに触れる絵本の研究―	(辻)
中村 希海	シンガポールにおける教育制度	(表)
中村 麻衣	性別役割分業意識と女性の希望ライフコース	(表)
成田 さくら	自閉症の特性理解と適切な教育支援に関する研究	(滝川)
成宮 加恵	道徳を疑う道徳科の授業	(齊藤)
西原 凜花	特別支援教育と教育のユニバーサルデザイン	(落合)
西本 結菜	食べ物の好き嫌いから見る食育活動の実態	(村井)

新田七見	野外体験活動と子どもの発達	(玉村)
禰宜田彩音	小学生のSNSの使用実態と犯罪リスクへの対処のあり方に関する考察	(岩槻)
野村理紗	生きづらさの要因と生きやすくなるための手段	(大橋)
萩塚美翼	触れて広がる学びのプレイマットの制作 —手指の巧緻性を高めるしかけ布絵本の研究—	(辻)
八田望生	小学校におけるESDの実践 ～SDGsの視点を取り入れた地域活性化へ向けて～	(宮野)
花木愛佳	平和教育における学校図書館の活用と実践	(宮野)
濱野夏帆	校則とジェンダー —制服と着装行動に着目して—	(大橋)
林七彩	「ぬくぬくまなブランケット」の制作 —愛着形成と認知活動を促す保育用品の研究—	(辻)
東史織	小学校におけるアタッチメント障害児に対する支援の在り方 —教師が行うことができる支援—	(岩槻)
東阪奈桜	学校給食を中心とした偏食克服のための指導	(表)
東山結香	障害のある子どものきょうだいが抱える問題とよりよいきょうだい児支援の在り方	(滝川)
引馬佑菜	国語が苦手な子どもを支援するための授業改善に関する研究	(水戸部)
堀莉佐子	年長児と小学1年生の発達の違いから見る小学1年生の授業の在り方	(村井)
松平桃佳	多重知能理論を用いた小学校外国語科の単元開発	(松岡)
松本いちか	小児緩和ケアとこどもホスピスの現状・課題・展望	(落合)
松本真依	特別支援教育におけるICT活用 —肢体不自由教育におけるICTの有効性について—	(滝川)
美濃岡萌	強度行動障害を併せ有する障害児者が適切な行動を身につけるための支援のあり方に関する研究	(滝川)
宮田知佳	「読むこと」における話し合い活動に関する研究 —文学的な文章に関する学習活動を中心に—	(水戸部)
宮本琳名	小学生における自然体験型学習としてのびわ湖フローティングスクールの意義と課題	(森)
宗好真希	現代の性的被害を踏まえた性教育プログラムの提案	(表)
村上紗樹	異文化体験で身につく力と留学期間の関係	(宮崎)
森千瑳	全ての子どもに対するTEACCHプログラムの応用	(落合)
森下麻琴	日本の学校教育における帰国児童生徒の適応問題	(宮崎)
森永梨瑞	絵本『コロケくんの保安検査』の制作 —食の多様性の理解を深める教育について—	(辻)
諸田琴美	保育・幼児教育における長期的な視点の重要性と限界 —社会的・経済的な観点にも着目して—	(宮崎)
八木菜摘	小学校外国語活動におけるカリキュラムの改善と授業開発 —「聞く力」「話す力」を育成するフォニックス指導を通して—	(松岡)
安井優花	日本におけるスクールソーシャルワーカーの現状と課題 —アメリカとの比較を通して考える—	(岩槻)
藪穂乃香	「現代解釈によりキャラクター化した仏画」の制作 —仏教教育と画像の研究—	(辻)
山岸絵夢	布絵本『だれのいのち?』の制作 —食育をテーマとした布絵本の研究—	(辻)
山口あんこ	子どもたちに効果的な自然体験学習	(齊藤)
山口聖華	子どもを取り巻く性環境と適切な性教育 —包括的性教育の本質理解と教員養成への位置づけ—	(玉村)
吉川杏理	子どもを取り巻く環境からみる求める愛のかたち —家庭環境と恋愛の傾向の結びつきを通して—	(玉村)
吉川京花	算数教育におけるICT活用に関する研究 ～シンガポールのICT教育をもとに～	(坂井)

卒業論文題目

葎 田 小百合	能登町の防災教育の実態とその課題	(松岡)
和 田 美 海	発達障害児への支援方法と保護者や関係機関との連携	(落合)
亘 鍋 早 希	日本における別学教育の存在意義	(宮崎)
上 野 優 花	日本の特別養子縁組制度の現状と課題	(表)
萩 本 美 宙	暴力が子どもに与える影響について	(村井)

養 護 ・ 福 祉 教 育 学 専 攻

学 生 氏 名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
秋 葉 美 紅	オールジェンダートイレの学校設置について ―当事者へのアンケート調査結果をもとに―	(桃井)
安 達 万 莉	女性大学生の恋愛傾向と恋人に求める恋愛特性から研究する現代女性の恋愛観	(桃井)
池 田 彩 乃	女子大学生のコロナ禍でのマスク着用とストレスの関連性	(井上)
石 津 真 菜	放課後等デイサービスの意義と課題 ～学校と事業所の連携の実態～	(鈴木)
石 塚 玲 菜	マスク着用及びマスク着用コミュニケーションに対する印象とその影響	(下村)
板 取 花 那	健全な愛着形成及び愛着障害を発症する可能性に関する文献研究	(下村)
市 場 莉 世	学校健診における内科検診の実施状況に関する調査	(中村)
植 村 友 美	健全な愛着形成及び愛着障害を発症する可能性に関する文献研究	(下村)
太 田 世 奈	学術的定義に基づいたHSPの理解について	(下村)
大 原 朋 恵	女子大生における容姿および美容医療に対する意識	(井上)
大 村 優朱花	高校生の保健室利用及びその関連要因 ―女子大学生を対象とした回顧的質問紙調査結果より―	(西岡)
加 藤 衣 莉	吃音児に対する支援の実践と展望に関する文献研究 ―学校内外の協力による包括的支援の検討―	(西岡)
金 澤 咲 輝	放課後等デイサービスに通う児童生徒に対する睡眠の健康評価 ―A県とB県における比較と考察―	(大川)
兼 田 夏 希	地域における子育て支援の役割について ―乳幼児を持つ母親を対象としたアンケート調査から―	(鈴木)
神 尾 和花奈	COVID-19パンデミック終息後におけるマスク着用習慣の変化とその要因に関する検討	(中村)
川 合 このか	児童虐待の定義について	(下村)
川 北 奈 都	日本におけるセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの確立をめぐって ～緊急避妊薬のOTC化を事例として～	(大川)
河 本 結 有	祖父母が養育に関わったことによる育児観や対人特性の違い	(鈴木)
菊 岡 愛	女子大学生における飲酒行動及び関連要因に関する小規模調査研究	(西岡)
木 下 朝 光	手動水栓ハンドルの汚染状態改善に向けての水かけの効果について ―ATPふき取り検査(A3法)による検証―	(中村)
小 林 千 夏	女子大学生における理想のライフコースと育児観との関連	(鈴木)
齋 藤 裕 依	起立性調節障害(OD)に対する友人及び学校の支援	(西岡)
里 井 ゆめみ	虐待としつけについての文献研究	(下村)
梶 本 稀乙莉	現代の日本社会における美容整形・美容医療の健全な付き合い方	(正野)
高 取 小都美	朝の健康観察実施の現状、及び今後の期待と課題 ―ICT活用の視点から―	(西岡)
竹 田 芽 衣	中学生が抱えるストレスと養護教諭が行う相談支援の在り方 ～求められる資質能力から見た意義と可能性～	(千葉・井上)
田 中 寧 ヲ	学校におけるメンタルヘルスリテラシー教育の現状及び課題に関する文献研究	(西岡)
田 中 日 菜	学術的定義に基づいたHSPの理解について	(下村)
辻 井 知佳美	小児期の災害によるトラウマの影響とその支援について	(千葉・井上)

発達教育学部紀要

中井望歩	女子大生の恋愛経験と自己肯定感の関連性について	(千葉・井上)
中川紗月	日本における認知症の人の自立に基づいた地域ぐるみ支援の課題と展望について —地域共生社会の実現をデンマークの認知症施策から学ぶ—	(正野)
長澤瑞穂	子どもの貧困と地域の居場所	(正野)
中芝美玖	周りの環境が及ぼす大学生の自尊感情への影響について	(大川)
西岡七海	児童が求める養護教諭像・保健室像	(大川)
西山和	性に関する指導の実態と養護教諭に望まれる取り組み	(大川)
野坂郁子	女子大生の視点から考えるジェンダーレス社会 ～オールジェンダートイレの可能性と課題～	(井上)
野田智聖	SNSが及ぼす身体醜形障害への影響について	(正野)
原田愛莉	女子大学生の居場所に関する研究 —行動と気遣いについて—	(下村)
春名咲良	学校保健活動における養護教諭のICT活用の現状と課題	(大川)
馬場日菜里	女子大学生における摂食障害と自尊感情の関連性、自尊感情が低い背景について	(井上)
東春那	女子大学生の対人関係と自己肯定感の関係性について	(大川)
福永沙梨菜	女子大学生の健康度・生活習慣 —健康度・生活習慣に影響を与える要因の検討—	(大川)
福山和佳	幼少期の愛着障害が成人期に及ぼす影響及び支援方法に関する文献研究	(西岡)
藤井明日香	見えにくさによる公共施設利用の不利益性を手がかりにした障害理解教育における今後の展望	(桃井)
細川あずさ	超高齢社会における美容やファッションの可能性や有効性について	(正野)
細見遥香	女子大学生における保健室・養護教諭観 —児童生徒時の経験から—	(大川)
堀井瑞月	自己肯定感と外的要因についての一考察	(千葉・井上)
三田茜	女性におけるアファンタジア —出現率及びアファンタジア自認者が持つ困り感について—	(下村)
道下七帆	MBTIを用いた大学生の自己肯定感・パーソナリティに対する意識について	(正野)
満永さくら	全校児童生徒に届く「ほけんだより」の検討	(大川)
南穂乃花	日本人の死亡原因上位5部位のがんにおける原因とメカニズム解明に関する文献研究 予防策と寿命延伸の可能性	(下村)
宮本花	愛着障害を抱える児童生徒との関わり方について	(正野)
村上未羽	教育現場における嘘の発生と社会性との関係	(井上)
村田佳穂	ポジティブ行動支援がもたらす行動変容 —教育・福祉現場における実践と効果—	(千葉・井上)
室谷朱里	愛着障害をもつ子どもの理解と学校での支援に関する一考察	(千葉・井上)
矢納未桜	女子大学生のアレルギー疾患に関する意識について	(大川)
横川美波	逆境的小児期体験が及ぼす影響と支援のあり方	(千葉・井上)
横山夏愛	障害に対する認知・イメージの差にみる障害者理解教育の在り方	(桃井)
吉田成美	アダルトチルドレン（機能不全家庭で育った人々）の生きづらさについて	(下村)

音楽教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
網師本 萌 花	中学校における部活動の地域移行の可能性 ～吹奏楽部に焦点をあてて～	(関口)
尼野 日 菜	ヴィルト・ルトスワフスキ《ピアノソナタ》に関する一考察	(大谷)
生 熊 愛	ドビュッシー《子供の領分》より〈ゴリウォーグのケーキウォーク〉の楽譜校訂の研究 ～自筆譜と初版、4つの校訂版の楽譜比較から～	(田崎)
石川 莉 子	芸術文化都市と音楽政策 ～京都市交響楽団の取り組みから～	(田崎)

卒業論文題目

大江 舞 奈	ヨハネス・ブラームス《ピアノソナタ第3番》Op.5より第1楽章に関する一考察	(大谷)
大 利 真 桜	小学校音楽科教育における歌唱指導 ―音楽を形づくっている要素を中心に―	(関口)
岡 本 若 菜	アルバン・ベルクの歌曲における旋律と和声の分析 ―《七つの初期の歌》より〈Sommerstage〉を用いて―	(ガハプカ)
奥 山 絢 加	F.ショパン 《バラード第1番 ト短調》Op.23における演奏表現法の一考察	(土居)
愛 宕 里 紗	信時潔作曲《海道東征》についての研究 ～第一章と第八章に着目して～	(荒川)
岸 原 桃 子	ウラジミール・コスマ《ユーフォニウムとオーケストラのための協奏曲》第1楽章の分析と考察 ―二つの主要テーマに着目して―	(坂本)
木 村 祐 女	L.v.ベートーヴェン《ピアノソナタ第21番》Op.53〈ヴァルトシュタイン〉第1楽章に関する一考察 ～楽器の進化を辿りながら～	(土居)
佐藤 実 咲	アレクサンドル・アルチュニアン《トランペット協奏曲》に関する考察	(坂本)
高橋 涼 花	自作品《京に着ける夕》について	(佐藤)
田川 凜	日本歌曲の表現 ～日本語を美しく生かす発音方法についての一考察～	(ガハプカ)
竹内 友 美	バッハ作曲 教会カンタータ第57番《試練に耐えうる人は幸いなリ》より 第2曲 レチタティーヴォ 第3曲 アリア における歌唱表現法 ～宗教的背景に着目して～	(ガハプカ)
竹村 琴 葉	自作品《ピアノと打楽器のための3つの小品》について	(佐藤)
田中 郁 子	L.ベリオ《セクエンツァIXa》のための演奏ガイド	(坂本)
田中 萌 香	自作品《Pied Piper》について ―音楽によるストーリーの表現―	(佐藤)
塚本 愛 菜	フリデリク・ショパン《2つのノクターン》Op.27の演奏表現に関する一考察	(土居)
永井 彩 南	自作品《Sirio》について	(佐藤)
西川 紗 生	音楽における社会貢献の在り方 ―ヤマハ株式会社に着目して―	(関口)
野付 花和実	中学校吹奏楽部における短時間の基礎練習プログラムの考案と検証 ―2人の生徒の9か月間の実践研究―	(坂本)
藤塚 寛 子	フリデリク・ショパン《バラード第3番 変イ長調》Op.47の演奏表現に関する一考察	(土居)
堀川 遥 名	メンデルスゾーン《厳格な変奏曲》Op.54に関する一考察	(大谷)
的田 日真莉	エンリケ・グラナドス 組曲《ゴイエスカス》に関する一考察 ～〈愛の言葉〉を中心に～	(大谷)
森 雅 稀	オペラ《魔弾の射手》(Der Freischuetz)より エンヒェンのアリアにおける歌唱表現の一考察	(ガハプカ)
森谷 美 桜	独唱における表現の一考察	(ガハプカ)
山田 純 蓮	現代における音楽聴取への聴衆の意識の変化について ―CDとサブスクリプションを比較して―	(荒川)
山本 美 伶	やなせたかし作「アンパンマン」を用いた中学校音楽科授業の提案 ―道徳科教育と融合―	(荒川)
横山 千 紘	オペラ《Don Pasquale》より〈Quel guardo il cavaliere〉の歌唱表現の一考察	(ガハプカ)
萬谷 美 咲	チャイコフスキー作曲《弦楽合奏のためのセレナーデ》作品48研究 ～ソナタ形式楽章を中心に～	(田崎)

令和6年度

発達教育学部児童学科 卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
青山奈央	世界中の友だちをつなぐドールハウス 「ムービングハウス」	(矢野)
安達温	子どもの発達段階に合わせて長年遊べる玩具 「メモリー・イン・ザ・ボックス」	(矢野)
安部 瑚乃美	地域子育て支援拠点におけるつながりの構築 —混合研究方法による検討—	(瀬々倉)
池田明日向	運動部活動経験者における指導者の指導態度と性格形成の関連について	(黒原)
石田 藍里	幼児期から学童期前半における日本とオーストラリアの国家カリキュラムの比較 —領域「健康」および体育に着目して—	(黒原)
石原 茉奈	現代の子どもの睡眠と寝かしつけに関する一考察 —保護者の音楽経験や社会の変化との関連に着目して—	(平井)
泉 房穂	シングルファーザーのジェンダー規範による葛藤 —当事者の語りからの考察—	(浦田)
市川 由依	女子大学生におけるボディイメージ及び身体意識との関連	(黒原)
市原 萌花	現代の子どもの睡眠と寝かしつけに関する一考察 —保護者の音楽経験や社会の変化との関連に着目して—	(平井)
井出 咲彩	小学館刊行の「動物図鑑」の内容分析	(上月)
伊藤 舞	調理過程が描かれている絵本の内容分析 —「カレーライス」が登場する作品を取り上げて—	(上月)
伊藤 優花	子どもの好奇心を長期的な学びにつなげる知育玩具 「全国妖怪都道府県ブロック」	(矢野)
稲葉 理紗	『ぐりとぐら』の音楽絵本の制作について	(平井)
井上 結貴	女子学生における骨強度評価 —運動習慣による検討—	(間瀬)
岩崎 結衣	発達的な偏りのある子どもにおける児童デイサービスの利用が保護者の子育てに関する意識・行動及び生き方に与える影響 —サービスに通う子どもの保護者への調査から—	(古池)
大塩 みく	推し活におけるネガティブ感情と推し活への出費・時間の消費、及び対人依存欲求との関連性の検討 —推し活におけるネガティブ感情尺度作成の試み—	(古池)
大重 千尋	保育現場における歌絵本の活用 —弾き歌いと歌い聞かせとの比較調査—	(黒田)
太田 知伽	女子大生における身体の自己認識とメディアの影響	(黒原)
岡田 咲	卒業制作 音楽絵本「おばけのパーティー」	(平井)
小倉 万歩	「ドラえもん」のイメージ —原作と広告利用との比較研究—	(黒田)
越智 日向子	「読書へのアニメーションの指導に関する一考察」 —作戦55「聴いたとおりにします」の実践を通して—	(松崎)
勝又 梓	保育学生における移行対象の存在意義の変容 —乳幼児期と現在の移行対象の位置づけ—	(瀬々倉)
加藤 陽奈	幼児の発達に適した布絵本の製作	(平井)
神澤 未夢	紙絵本とデジタル絵本 —デジタル教科書との対比を通して—	(黒田)
上林 真涉	コミュニケーション能力の変化と課題について —子どもと社会人の間にあるギャップ—	(黒田)

卒業論文題目

川 田 紗 輝	幼児における多様な英語の教育方法に対する保護者の意識と行動 ー未就学児を持つ保護者への調査からー	(古池)
川原田 つぐみ	子どもと養育者の自尊感情に関する研究 ー幼児期の褒められ経験を中心にー	(瀬々倉)
岸 本 優 美	女子学生における筋厚・筋輝度の評価	(間瀬)
北 原 唯 那	『ぐりとぐら』の音楽絵本の制作について	(平井)
北 村 萌菜美	保育者・小学校教諭養成課程を履修する学生の異校種理解を目指した自主学习会の取り組みに関する一考察 ー保幼小連携に取り組める保育者・教師になるためにー	(松崎)
北 山 未 菜	保育学生における移行対象の存在意義の変容 ー乳幼児期と現在の移行対象の位置づけー	(瀬々倉)
倉 内 心 愛	女子学生におけるPhase Angleの評価	(間瀬)
小 石 理 名	保育施設を利用する保護者の意向の把握 ー「直接的な意向」と「間接的な意向」の比較を通してー	(浦田)
小 泉 奈津美	親が精神疾患をかかえている子どもの体験をとりあげた絵本についての考察	(松崎)
幸 泉 花 音	親子間の信頼関係を育む玩具 「積んで重ねてすけーる積み木」	(矢野)
児 山 桃 羽	日本・韓国の絵本に関する一考察	(松崎)
斎 藤 里 奈	子どもの表情理解を促すしかけ絵本 「どんなかおしてるかな？」	(矢野)
桜 井 七 海	乳児との関係構築プロセスに関する行動観察 ーアウトリーチぴっぴらんの録画分析を通しての有効な援助ー	(瀬々倉)
佐 藤 愛 莉	自発的な歌唱に関する一考察 ー乳児と大人を比較してー	(平井)
佐 藤 梓 紗	青年期の女性における聴取音楽が感情に与える影響 ー多次元的な共感性・聴取ジャンル・聴取態度を要因とする調査研究ー	(古池)
澤 歩 優	保育における「笑い」の重要性	(上月)
椎 葉 心 花	幼児における体組成・運動機能の評価	(間瀬)
杉 原 伶 奈	女子学生におけるPhase Angleの評価	(間瀬)
鈴 木 英	青年前期における親の関わりが成人期の自己肯定感に及ぼす影響 ー女子学生を対象とした検討ー	(浦田)
須 藤 里 奈	子どもの表現力を育む知育玩具 「いろんなきもち」	(矢野)
住 友 咲 月	保育学生における実習期間外と実習期間中の睡眠についての一考察	(黒原)
惣 田 桃 羽	製作遊びの教材研究 ー手づくりおもちゃ「けん玉」を取り上げてー	(上月)
平 祐希奈	絵本「アンパンマン」シリーズの変容 ーシリーズの作品分析を通してー	(川勝・松崎)
田 浦 佐弥子	オンライン子育て支援プログラムにおける信頼関係の構築 ー家族ごとの録画分析ー	(瀬々倉)
立 川 陽菜乃	幼児における体組成・運動機能の評価	(間瀬)
田 中 千 莉	女子大学生におけるボディイメージ及び身体意識との関連	(黒原)
田 中 美 妃	女子学生における骨強度評価 ー運動習慣による検討ー	(間瀬)
田 中 めぐみ	子どもと養育者の自尊感情に関する研究 ー幼児期の褒められ経験を中心にー	(瀬々倉)
谷 口 美 月	女子学生におけるやせ願望が食行動に及ぼす影響	(間瀬)
辻 本 里 奈	親の信仰が子どもに及ぼすリスク ー児童期の発達に注目してー	(黒田)
土 田 晴 日	乳幼児の性別と養育者の育児不安についての調査 ーある保育園におけるアンケート調査結果の分析ー	(瀬々倉)
綱 川 光	初級日本語教科書の比較研究 ー社会言語学的要素に着目してー	(黒田)
寺 井 帆乃花	地域子育て支援拠点におけるつながりの構築 ー混合研究方法による検討ー	(瀬々倉)
寺 沢 侑多菜	ライブ人形劇と映像人形劇を鑑賞したときの子どもの反応の差異	(松崎)
土 井 美 葉	死別による喪失体験と自分の命が危うくなった体験が死生観に与える影響 ー10代から70代の男女を対象とする調査からー	(古池)

遠田真由	絵本のなかのオノマトペが3歳児以上の言葉の発達に与える影響	(松崎)
徳井希早	園における生活発表会の楽しさに関する考察 —幼児期の経験についての学生インタビューを通して—	(上月)
戸田美春	女子学生におけるやせ願望が食行動に及ぼす影響	(間瀬)
直江晴加	教育番組「いないいないばあ!」の楽曲研究に関する一考察 —オノマトペの意味に着目して—	(平井)
中川晏里	新聞記事に掲載される「不適切保育」の内容に関する考察	(上月)
長田朋桃	運動部活動に所属する生徒の競技特性不安と心理的競技能力に関する検討 —バトントワーリング部に着目して—	(黒原)
中谷友	食育活動での絵本の活用実態について —幼稚園へのアンケート調査から—	(松崎)
中谷咲月	教育虐待を受ける子どもへ行うべき支援 —スクールカウンセラーの役割—	(黒田)
中西花梨	山・森での遊びに興味をつなげる玩具 「できるかな? しってるかな? すごろく」	(矢野)
中村明日香	製作遊びを取り入れたごっこ遊びの場の教育的意義 —4歳児を対象にした実践研究—	(松崎)
夏目優衣	絵本を通して幼児期における平和教育を考える	(上月)
西尾咲幸	幼児における情報機器の使用と家庭での絵本の読み聞かせの関連 —親の意識と行動に関する調査から—	(古池)
西村智音	異素材玩具の遊びに関する事例研究 —木製玩具とプラスチック製玩具を用いて—	(松崎)
西脇七海	五感を使って楽しむことができる木の穴あき絵本 「えんぴつくんとわたし」	(矢野)
馬場茉夕子	女子学生におけるPhase Angleとダイエット行動との関連	(間瀬)
浜村香花	妊娠葛藤を抱えた女性への支援の実態や現状と課題 —地域間における支援体制の格差に着目して—	(浦田)
平井詩織	伝統文化を学ぶ教材としての茶道の優位性	(黒田)
平田真友	障害児の放課後活動の変遷 —放課後等デイサービスの創設とガイドラインに着目して—	(浦田)
廣田実咲	子ども兵士への支援 —子どもの発達過程に着目して—	(黒田)
藤田愛子	子育て支援としての絵本の読み聞かせ会 —フィールドワークを中心に—	(瀬々倉)
古田陽子	人形劇における音楽の効果について —観客の心情への作用を中心に—	(松崎)
堀田ひなの	女子大生における身体の自己認識とメディアの影響	(黒原)
松原彩華	自発的な歌唱に関する一考察 —乳児と大人を比較して—	(平井)
松本遥	保育学生における実習期間外と実習期間中の睡眠についての一考察	(黒原)
的場花奈	女子学生における筋厚・筋輝度の評価	(間瀬)
圓若咲紀	療育施設に通う子どもの人間関係 —事例研究を通して—	(浦田)
三嶋乃愛	児童養護施設での被措置児童等虐待 —被措置児童等虐待届出等制度の二次分析から—	(浦田)
溝口りんな	若年層におけるスマホの利用状況及びスマホへの依存性とコミュニケーション・スキルの関連	(古池)
光野百香	女子学生におけるPhase Angleとダイエット行動との関連	(間瀬)
宮川仁衣奈	乳児との関係構築プロセスに関する行動観察 —アウトリーチぴっぴらんの録画分析を通しての有効な援助—	(瀬々倉)
三宅瑠奈	動作を引き出す音楽や言葉の効果についての一考察 —『おかあさんといっしょ』の体操の分析を中心に—	(平井)
元木美羽	保育雑誌における「子どもが作る」壁面構成の掲載内容 —雑誌別及び経年比較を通して—	(上月)
元木瞭	「しが自然保育認定制度」を受ける園の自然体験活動の取り組みと課題	(上月)

卒業論文題目

森川明音	遊びや生活を通した防災教育のための「防災教育マップ」の提案 —遊びの要素の含有と子どもの恐怖感情への配慮を中心に—	(松崎)
山岡美優	幼児期から学童期前半における日本とオーストラリアの国家カリキュラムの比較 —領域「健康」および体育に着目して—	(黒原)
山口琴未	保育現場へのICT導入における現状と課題 —導入による園務の効率化と保育者の負担軽減についての一考察—	(浦田)
山根愛音	わらべうた伝承の伝統と課題 —「かごめかごめ」を中心に—	(平井)
山本慶乃	乳幼児期から楽しむ科学・造形遊び	(矢野)
吉川茉友子	保育現場のESDの実践事例から見た課題について	(松崎)
吉見茉裕	運動部活動経験者における指導者の指導態度と性格形成の関連について	(黒原)
若山陽菜子	保育園における子育て支援に関する調査 —未就園児親子への支援を中心に—	(瀬々倉)
鷲野日菜子	ジェンダーの視点で絵本をみる意義	(松崎)

令和6年度

発達教育学部心理学科／発達教育学部教育学科心理学専攻  
卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
荒木穂香	大学生における自己受容及び他者受容と気遣いの関連の検討	(中井)
石賀早紀	女子大学生を対象とした睡眠を媒介とする孤独感と抑うつの関係性	(岩原)
板垣萌依	ソーシャルスキルと孤独感の関連 — 行動スキルと認知過程スキルに着目して—	(下津)
今井七夕実	過剰適応と価値観が主観的幸福感に及ぼす影響について	(松浦)
江上萌茄	時間的展望と進路選択自己効力感の関係について	(下津)
大島梨香	Highly Sensitive Person傾向の大学生の被受容感及び被拒絶感と自己肯定感の関連	(中井)
小川愛惟子	淡路島への移住者を対象とした移住者の心理と適応について	(八田)
奥西悠生	運動習慣と精神的健康の関係における社会的つながりの調整効果	(岩原)
奥村麻弥子	専門家援助要請, メンタルヘルスリテラシー, およびメンタルヘルスケアへの親近性の関連	(広瀬)
奥村嘉乃	青年期の友人関係における親和動機と気遣い, 孤独感の関連	(松浦)
角田瑞希	発達障害者に対する態度における共感性と発達障害に関する知識の関連性の影響	(中井)
菊岡葉月	思春期の親子関係に関するこどもの認知と養育態度がなりたい親に及ぼす影響	(中井)
木田梨来	共感性と恩恵享受的自己感が過剰適応へ及ぼす影響	(松浦)
木村桃花	自己愛と居場所感がソーシャルメディア利用に及ぼす影響について	(松浦)
工藤菜緒	アタッチメントスタイルと友人との心理的距離に関する研究	(広瀬)
久保山紗佳	母娘関係が女子大学生の精神的健康に与える影響 — 親密性との関連について—	(稲塚)
河野愛未	社会的比較志向性と公的自己意識・他者意識がInstagramでの社会的比較感情に及ぼす影響	(松浦)
後藤香乃	匂い刺激が色の明るさ知覚に与える影響	(伊東)
近藤みのり	飲料水における液体およびラベルの色が味覚に及ぼす影響	(八田)
佐藤遥	対人関係の捉え方と高校時代の学校生活の在り方が大学生生活への適応に及ぼす影響	(広瀬)
塩貝萌々	青年期における「孤の不安」と「個の不安」の検討 — 友人関係との関連—	(稲塚)
真銅幸子	SNSの利用法と社会的比較志向性が主観的幸福感に及ぼす影響	(下津)
高木佑理子	目元顔写真の感情認知における色の影響	(伊東)
高濱彩加	大学生の友人関係における同調と居場所感の関連に関する検討	(中井)
高刈莉緒	大学生における親の養育態度と認知的方略の関係性	(中井)
田濃柚菜	神経症傾向と孤独感との関連性における反芻の媒介効果	(岩原)
玉井美有	児童発達支援利用児の職員とのアタッチメント形成が社会的スキルに及ぼす影響	(中井)
津田美月	女子大学生の「推し活」イメージと「恋愛」イメージ — 「推し活」経験・交際経験に着目して—	(稲塚)
中井聡子	発言が抑制される状況におけるメディア選択と性格特性の関連	(伊東)

卒業論文題目

永田千紗	身体的健康と認知機能の関連における社会的なつながりの調整効果に関する検討	(岩原)
中西香菜	女子大学生の結婚観 一性役割意識と親同士の関係に注目して一	(下津)
中野佑有子	援助要請における利益・コストの予期およびセルフ・コンパッションが援助要請意図に及ぼす影響	(下津)
中村佐都子	現代青年の自己の多元性とアイデンティティの関連	(稲塚)
中村優菜	怒り反すうと許せなさの関連における怒りと時間経過の媒介効果の検討	(伊東)
西置萌乃	羞恥と反すうが思い出し羞恥に及ぼす影響	(八田)
畑山陽由	マインドフルネスとPMDDとの関連におけるネガティブな反芻の媒介効果	(岩原)
林希美	語り直しの感情的操作による記憶の変容とネガティブバイアスの関係	(伊東)
馬場紗帆	女子大学生における身体不満足感と共同性・作動性、対人恐怖心性との関連	(松浦)
平田はるひ	自尊感情と自尊感情低下後の回復行動に関する研究	(八田)
廣尾桃子	課題の重要度と個人の楽観性が先延ばし過程における課題に対する意識に及ぼす影響	(広瀬)
福島あい	大学生における「ひとりていられる能力」の検討 一対他者関係に着目して一	(稲塚)
福野真依子	被開示者の仮想的有能感類型がポジティブな自己開示に対する社会的比較感情に及ぼす影響	(広瀬)
堀井万奈加	大学生における自己愛傾向と共感性が攻撃性に与える影響の検討	(中井)
堀口真優	大学生の攻撃行動における養育態度と感情制御方略の影響について	(松浦)
松岡舞弥	過剰適応と自意識が本来感に及ぼす影響	(八田)
南井彩良	大学生における関係性攻撃の検討 一同調行動・共感性・学校適応感との関連一	(稲塚)
三村音乃	女子大生の化粧行動と自己意識およびSNS利用の関連について	(下津)
森咲来	理想自己と有益性発見がアイデンティティの確立に及ぼす影響	(下津)
森下爽美	他者からの慰めの言葉が受け手の感情に与える影響 一出来事の重要度と慰めの言葉の種類による検討一	(広瀬)
守山ことみ	セルフ・ハンディキャッピングと他者からの評価懸念が先延ばしに及ぼす影響	(八田)
安田凜香	浮気した相手への反応に関する研究	(八田)
山田柚衣	判断者の共感性と被告人との類似度が量刑判断に与える影響	(伊東)
横江侑璃	友人関係と恋愛関係における嫉妬がネガティブな感情に及ぼす影響	(八田)
吉野雅子	自己開示状況が自己開示量に与える影響について 一開示内容と開示者の外向性に注目して一	(稲塚)
脇坂菜央	月経期のウェルビーイングと心理的柔軟性との関連性	(岩原)
鷲崎阿唯彌	女子大学生の同性友人関係において愛着4類型と関係効力感が感情表出の制御に及ぼす影響	(下津)

## 『発達教育学部紀要』投稿規程

(目的と刊行頻度)

第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。

(編集委員会)

第2条 紀要編集委員会(以下、「編集委員会」という。)は、学部長が本学部の教員組織における専門領域の編成を考慮して、学部の専任教員の中から委嘱する4名の委員をもって構成する。

2 本誌の編集及び発行に関して必要な事項は、編集委員会が定める。

(投稿内容等)

第3条 本誌が投稿を受け付ける執筆内容は、発達教育学部の諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び紀要編集委員会が適当と認めたその他のもの(以下、「論文等」という。)とし、未公開のものに限る。このほかに、編集委員会の指示により、本学部の教育研究活動に関する情報等を掲載する。

(投稿本数)

第4条 著者として投稿できる論文等の本数は、単著論文と共著論文を合わせて、本誌1号につき原則として2本を上限とする。

(投稿資格)

第5条 本誌への投稿資格は次のとおりとする。

- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員。
- (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
- (3) その他、編集委員会が特に認めた者。

(投稿方法)

第6条 本誌に投稿を希望する者は、編集委員会が定めるところに従い、論文原稿及び関連する書類を提出しなければならない。

(執筆代表者)

第7条 投稿に際しては、執筆者のうち1名を、執筆代表者とすることとする。ただし、原則として本学の専任教員とする。

2 執筆代表者は、編集委員会または実務担当者からの連絡等に対応することとする。

(投稿原稿の作成)

第8条 投稿原稿は、編集委員会が別に定めた「『発達教育学部紀要』執筆の手引き」に従って作成しなければならない。

(審査)

第9条 執筆者は、論文等の原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。

(研究倫理)

第10条 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのために必要な手続きは、執筆者が自ら行うこととする。

(投稿の採否)

第11条 投稿された論文等の採否は、編集委員会によって決定する。

(抜き刷りの提供)

第12条 掲載が認められた論文等の執筆代表者には、当該論文等の抜き刷り30部を贈呈する。それを超

える部数は実費負担とする。

(情報公開と著作権)

第13条 本誌に掲載された論文等は、原則として「京都女子大学学術情報リポジトリ」で公開する。

2 執筆者は、本誌に掲載された論文等の著作権のうち、複製権及び公衆送信権を京都女子大学に許諾する。ただし、これらの許諾は取り消すことができる。

(本規程の取り扱い)

第14条 本規程の取り扱いは、発達教育学部紀要編集委員会が行う。

附 則

この規程は、平成26年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日より施行する。

## 編集後記

『京都女子大学発達教育学部紀要』は、いまから20年前の2005年1月に創刊されました。それは、京都女子大学の第4の学部として「発達教育学部」が開設された年度に当たります。以降、年に1回の刊行を重ね、本号で第21号となりました。今回上梓する第21号は、発達教育学部の学部改組により、それまでの3つの学科・専攻を1学科に統合して生まれ変わった「発達教育学部」が初めて刊行する紀要となります。

それを踏まえて、今年度の編集委員が最初に着手したのが「投稿規程」の見直しでした。投稿規程の大きな変更は投稿本数に関するもので、前号までは内規で「執筆者1名につき1本まで」とされてきたのを、「原則として2本を上限とする」に変更いたしました。事前に発達教育学部の先生方に意見聴取したところ、「研究発表の場をもっと増やしてほしい」という強い要望が寄せられたからです。その甲斐あって、投稿論文数は前年度の10本から19本にほぼ倍増しました。新生・発達教育学部の先生方の研究に対する強い熱意が感じられます。

ちなみに、投稿規程の見直しに当たり、他大学が刊行している相当数の紀要の規程に目を通しました。投稿本数のルールについては上限1本と明記するものも散見されますが、「単著は1本、共著はその限りでない」とするものもあるなど多様でした。しかし、多くの大学の紀要の現状は「執筆者1名につき1本まで」が主流のようです。しかし、なぜ「1本まで」なのかは不明です。ちなみに、紀要の投稿規程を調べているうちに、投稿者に原稿料が支払われる紀要が、少ないながらもあることを知りました。それで思い出したのですが、筆者が院生の頃に、ある大学の年配の先生から「戦後の貧しい時代には、大学紀要に論文を投稿すると結構な額の原稿料が支払われて、生活の足しになっていたのですよ」とうかがったことがあります。「執筆者1名につき1本まで」というのは、大学側が支払う原稿料の予算の関係で、投稿本数を抑制せざるを得なかった当時の事情を踏まえたルールなのかもしれません。時代が変わってもそのルールが慣行としてなんとなく引き継がれているのでは…そんな想像が膨らみました。

今後は紀要の発行媒体も紙媒体から電子媒体に主軸が切り替わっていくことでしょう。それに伴い、紀要への投稿がより柔軟な形でできるようになりそうです。これからも、時代のニーズに対応することのできる『京都女子大学発達教育学部紀要』でありたいと思います。

発達教育学部紀要第21号

編集委員長 古池 若葉

## 編集委員

委員長 古池 若葉

委員 坂本 光太 辻 誠 水戸部修治 (五十音順)

京都女子大学

## 発達教育学部紀要 第 21 号

2025 (令和7) 年 3 月 6 日 印刷

2025 (令和7) 年 3 月 7 日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 山代印刷株式会社

# BULLETIN OF THE FACULTY OF HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No.21 March, 2025

---

## CONTENTS

Tomoya IWATSUKI, Dean of the Faculty of Human Development and Education: Foreword	
Keiko ARAKAWA, Kimiko OHTA, Akinori SAITO, Takaharu GAMO, Yukio NOMOTO: A Study on Science and Music Communication on the Theme of SDGs: From the “Celestial Bodies and Music” Executive Committee’s Planning open to the Public	1
Rika OCHIAI, Kuniyoshi TAKIGAWA: Social Growth and Psychological Issues in Children with Autism, Chronic Illness, and Cerebral Palsy: Exploring the Potential of TRPGs	13
Mami OMOTE: Views on Family in Moral Education Textbooks	23
Nami GAHABKA: A Study of Musical Expression Activities that Connect Body and Words: What Appears to Be Expression Using Sign Language	33
Miwa KURAMOTO, Mami OMOTE: Communication with Colleagues and the Ease of Working for Female Teachers: Based on Interviews with Female Teachers	43
Chiharu KOMAI, Naoko MURAI, Tetsuhito SAKATA, Hisayoshi MORI: The Conflict between Freedom of Education and Academic Achievement in the Netherlands: Based on Field Observations	55
Takeshi SAKAI, Hideyuki AKAI: A Study on Childcare Using Patterns : Significance in Recognition of Patterns as a Foundation for Mathematics	67
Takeshi SAKAI, Hideyuki AKAI, Qiuyu HUANG, Chen GAO, Siman CHEN, Hiroki ISHIZAKA: A Comparative Study of Mathematics Education in Taiwan and Japan	79
Kota SAKAMOTO: Translation and Commentary on Vinko Globokar’s ‘Der Kreative Interpret’ (1975): Globokar’s Vision of Musical Creation through Collaboration between Composers and Performers	91
Kota SAKAMOTO, Risa OSAWA: A Practical Study on Conducting Instruction Utilizing Dalcroze Eurhythmics: Development and Implementation of Activities for Conducting Techniques Course in Primary and Secondary Education Training Curricula	101
Kunihiko TAMAMURA: War Orphans, Street Children, and Child Welfare Facilities in Postwar Osaka: Focused on Life and Education at Osaka Prefectural Shiratori Gakuen through Film Footage	115
Makoto TSUJI, Masao URATA, Katsumi NAKAI, Sayoko ITOH: Practical Study on Childcare Teaching Materials Bringing up “Child’s Expressing His or Her Views and Acceptance”: Based on the Practice of Making String Telephones and Playing Activities for Older Children in Kindergarten	127
Katsumi NAKAI: A Study on School Education in Rural and Urban Areas of Cambodia: Focusing on Elementary Schools and Kindergartens	137
Maiko NOJIRI, Tomoko DOI, Nao YAMASAKI: An Attempt to Develop an Online Music Workbook: Class Practice of Fifth Grade	145
Yasushi MATSUOKA: Constructing a Unit for Disaster Learning in Social Studies Using the Backcasting Method: Through the Design of the Unit “Threat of Nankai Trough Giant Earthquake”	157
Momo MIZUTANI, Tamana SESEKURA: New Roles of Childcare Teachers in Local Child Care Support Center: Application from Conventional Role of Child Care to Support for Infants and Parents	169
Shuji MITOBE: A Study on the Realization of Individual Optimal Learning and Collaborative Learning in Japanese Language Courses in Elementary Schools: Focusing on Long-Range Learning Activities	181
Hisayoshi MORI: A Possibility of Critical Research on the Dewey’s Laboratory School Based on the Perspectives of “Historical Myths”	193
Makoto YANO, Hirosugu TAZUME, Masako YOSHIZU: Development of Teaching Materials Using Mokuiku for Realising ESD in Preschool and Primary Education III: From the Perspective of the Versatility of Wood Education Teaching Materials	207
:	
Faculty of Human Development and Education Open Lecture 2024	217
Titles of Master’s Theses and Graduation Theses	218